

作成日(改訂日) : 2018年3月30日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : サフオイル乳剤  
 会社名 : OATアグリオ株式会社  
 住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8階  
 担当部署 : 品質保証室  
 電話 : 088(684)0220  
 FAX : 088(686)7055  
 緊急連絡先電話番号 : 03(5283)0251(本社)  
 整理番号(SDS No.) : OAT0248-6  
 使用上の制限 : 農薬

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理化学的危険性  
 引火性液体 区分外  
 健康に対する有害性  
 急性毒性(経口) 区分外  
 急性毒性(経皮) 区分外  
 皮膚腐食性・皮膚刺激性 区分外  
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分外  
 皮膚感作性 区分外  
 環境に対する有害性  
 水生環境急性有害性 区分外  
 水生環境慢性有害性 区分外

\* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

#### GHS ラベル要素

なし

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
 化学名(又は一般名) : 調合油乳剤

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
調合油	97.0	-	対象外	なし
界面活性剤等	残量	-	-	-
n-プロピルアルコール	1	71-23-8	(2)-207	(2)-207

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

蒸気、ミスト等を吸入して身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。

#### 皮膚に付着した場合

製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら石鹸を使って十分に洗浄する。  
 異常が認められる場合には医師の診断を受ける。  
 汚れた衣類は再使用の前に洗濯しておく。

#### 眼に入った場合

速やかに流水にて 15 分間以上の洗浄を行う。  
 眼の刺激が持続する場合、医師の診断/手当を受ける。

#### 飲み込んだ場合

水で口腔内を洗浄する。  
 大量の水を飲ませ、胃中のものを吐き出させる。  
 被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。  
 医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の状況に応じた消火剤を使用する。  
 放水による消火の場合、本品を高濃度に含有する液が河川等に流出しないように注意が必要である。  
 使ってはならない消火剤: 棒状注水

火災時の特定危険有害性

燃焼すると、一酸化炭素、二酸化炭素等の有害なガスが発生するおそれがある。  
 加熱された容器は破裂するおそれがある。

特定の消火方法

周辺火災の場合で移動可能な容器は、安全に行える場合に限り火災場所から搬出する。  
 移動不可能の場合には、容器とその周辺散水して冷却する。  
 消火が不可能なら、周辺を防護してそのままなくなるまで燃焼させる。

消火を行う者の保護

空気呼吸器と適切な保護具を装着して安全な場所より消火を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

付近の着火源となるものを速やかに取り除く。  
 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。  
 適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用して、風上で作業する。  
 屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に換気を行う。  
 こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法

残渣を可能な限り密閉可能な容器に回収する。  
 少量の場合は、吸着剤(土砂またはおがくず、ウエスなど)で吸着させて取り除いた後、残りをウエス、雑巾などで拭き取り、多量の水で流す。  
 大量の場合、容器等から流出していれば、土砂などで困って流出を防止し、スコップなどで空容器等へ回収する。  
 本品を拭き取った布等は、焼却する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

本品の取扱い時には、暴露防止のために適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用し、作業中は十分に換気を行う。  
 蒸気、ミストの吸入、皮膚や眼への接触、及び経口摂取は避ける。  
 作業後には必ず手、顔及び眼を十分に洗浄する。  
 本品の用途以外に使用しない。  
 作業着は再使用前に洗濯する。  
 的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。

保管

直射日光を避け、低温で乾燥した場所に密閉して保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

作業環境が汚染されないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化、あるいは全体換気を適切に行うことが必要。

管理濃度および許容濃度

成分名	管理濃度(厚生労働省)	許容濃度(産衛学会)	ACGIH
調合油	-	-	-
n-プロピルアルコール	-	-	TWA 100 ppm STEL -

保護具

呼吸器用の保護具 : 有機ガス用マスク(蒸気やミストが発生する場合)  
 手の保護具 : ゴム手袋  
 目の保護具 : 安全ゴーグルを着用する。  
 皮膚及び身体の保護具 : 長袖の作業衣及び長靴

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状態

形状	液体
色	淡黄色
臭い	油脂臭
pH	5.2

### 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	データなし
融点/凝固点	データなし
分解温度	データなし
引火点	331°C(クリーブランド開放式)
発火点	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重/密度	0.914
溶解性	
水に対する溶解性	データなし(乳化する)
オクタノール/水分配係数 (log Pow)	データなし

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性

通常の保管条件では安定。

### 避けるべき条件

危険な反応の原因となる条件は知られていない。

### 避けるべき材料

危険な反応の原因となる化学物質は知られていない。

### 危険有害な分解生成物

火災時には、一酸化炭素等の有害な蒸気が発生するおそれがある。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

経口	LD <sub>50</sub> 値 : >2000 mg/kg (♀ラット)
経皮	LD <sub>50</sub> 値 : >2000 mg/kg (♂♀ラット)
皮膚腐食性・皮膚刺激性	刺激性なし(ウサギ)
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	刺激性なし(ウサギ)
皮膚感作性	皮膚感作性なし(Maximization 法、モルモット)
遺伝毒性	
Ames 試験	陰性(原体)
生殖毒性	区分 2 に分類される n-プロピルアルコールを 0.1%以上含有する。(カットオフ値未満)

## 12. 環境影響情報

### 水性環境有害性(急性)

LC <sub>50</sub> (96 時間)	>1000 mg/L(コイ)
EC <sub>50</sub> (48 時間)	>1000 mg/L(オオミジンコ)
ErC <sub>50</sub> (72 時間)	>1000 mg/L(藻類)

## 13. 廃棄上の注意

本品を直接排水や河川等に廃棄してはならない。

アフターバーナー及びスクラバーを具備した焼却炉で少量ずつ焼却する。

知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する)。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 非該当

クラス : 非該当

輸送の特定の安全対策及び条件

積載する場合には、容器の落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。容器は乱雑に取扱わない。

15. 適用法令

農薬取締法

登録番号 第 22801 号

毒物及び劇物取締法

非該当

労働安全衛生法

危険物・可燃性の物(施行令別表第 1 第 4 号)を含む  
名称などを表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条第 1 項、  
施行令第 18 条第 1 号、第 2 号・別表第 9)

494 プロピルアルコール

名称等を通知すべき有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条  
の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9)

494 プロピルアルコール

化学物質管理促進法(PRTR)

非該当

消防法

指定可燃物 可燃性液体類

船舶安全法

非該当

航空法

非該当

16. その他の情報

参考

OATアグリオ株式会社保有データ

MSDSnavi(日本ケミカルデータベース株式会社、2018)

連絡先

製品に関する問い合わせ先: コールセンター0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先: 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 (情報提供料: 無料)	医療機関専用有料電話 (情報提供料: 1 件 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9~21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

責任の限定について

安全データシートは、製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者を提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従いまして、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実情に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いいたします。